

AT's natural flooring 自然OIL WAX塗装品のメンテナンスについて



お日
手頃
入の

毎日のホコリはホウキや掃除機で取り、乾いた柔かい布で乾拭きするのが原則です。
汚れが目立つ所は、固く絞った雑巾で速やかに拭き取ってください。その後、乾いた柔かい布で乾拭きしてください。
フローリングを長持ちさせるには、床を水分から守ることが大切です。
※化学雑巾は使用しないでください。



汚れ・
軽微な
傷

- ①傷、汚れなどを#180~240程度のサンドペーパーで木目方向に沿って、なめらかな表面になるようにします。
- ②掃除機でほこりを取り、乾いたやわらかい布できれいに拭き取ってください。
- ③布を2枚用意し、推奨塗料を1枚目の布で板の継ぎ目を避け、木目方向に沿って少量づつすりこむようにできるだけ伸ばし、フローリングの溝に塗料が入らないよう薄く均一に塗ってください。その直後に、もう1枚の拭き取り用の布で余分な塗料を拭き取ってください。美しく仕上がります。塗りすぎにご注意ください。
- ④乾いてから丁寧に乾拭きすると汚れの防止とともに艶だしの効果もあります。

※塗装の失敗の原因は、ほとんどが塗りすぎによるものです。塗布量を誤ると塗りムラ、艶ムラの原因にもなります。ご注意ください。
※軽微な傷は上記方法で補修できますが、ペットなどによる深い傷、タバコなどの焦げ跡は一度つくくと取れません。十分ご注意ください。



水等
をこぼ
したら

速やかに乾いた布で水分を拭き取ってください。特に色のついた液体（しょうゆ等）はすぐに拭き取ってください。
万一、放置して水分を吸ってしまった場合は、完全に乾いてから、上記①~④の作業をしてください。

【ヘアーカラー剤などをこぼしてしまった…】
すぐに拭き取ってください。放置しておくくと取れなくなります。色のついた液体をご使用の際は床上にカバー等を敷くことをお勧めします。
※自然OIL 塗装品は塗膜を作らないため水分を吸収しやすく、木が水分を吸い取ってしまうと色が取れなくなる可能性があります。また水分を拭き取らずそのまま放置しておくくと、水分の蒸発と共に油分も抜け、木の表面が収縮により亀裂したり、もり上がったり、白くなりザラザラとした毛羽立ちをおこします。

※水廻りは水はねや洗剤が飛び散ることがあります。洗剤に含まれている成分は浸透性が高く、そのまま放置するとカビが発生しやすくなります。一度発生したカビは取り除くことが難しいため、ご注意ください。水はねや洗剤等をこぼした時は、乾いた布で拭き取るなど速やかに処置してください。



目ワ
ック
塗りか
け方

店舗は1ヶ月ごとに、普通住宅は3ヶ月から半年に1回はワックスをかけていただくと美しい状態が保たれます。
但し、下記のような症状がでた場合は、期間に関係なくワックスかけを行ってください。
ワックスかけの際は上記、汚れ・軽微な傷①~④の通り行ってください。

- ◎木材の表面に微細な亀裂、毛羽立ちなどが目立ってきたとき。
- ◎撥水性やツヤがなく、木地の色が出てきたとき。
- ◎カビや汚れなどにより外観が悪くなってきたとき。



推奨
ワッ
クス

クランプオイル(ハイソリッド オイルフィニッシュ)



原産国：ドイツ

※塗料をごり用の場合は、販売店または当社へお問い合わせください。

◎現場塗装、メンテナンスにおすすめです。

High-Solid Oil-Finish

主成分	：ヒマワリ油	90.0%
乾燥促進剤	：オクタン塩酸（無鉛）	0.3%
溶剤	：ナフサ油	3.4%
被膜剤	：蜜蝋	6.0%
添加剤	：ヒマシ油、桐油	0.3%

成分の90%が自然素材から構成され溶剤が少ないため、乾燥に時間がかかります。天気の良い日に塗装されることをおすすめします。

【缶容量】 1/0.3/0.2/0.1 & 缶



注意
事項
！

※推奨塗料以外の塗料を使用する場合は、塗料の説明書に従うか、または塗料メーカーにご相談ください。

水性のもの或いはシンナー系のワックスなどは絶対に使用しないでください。

使用した場合、ひび割れ・ささくれや、塗料が溶けムラになり通常使用不能な状態になります。

※水性、水で希釈するタイプのワックスクリナーなどは絶対に使用しないでください。

※使用したウエスやぼろ布は自然発火の恐れがあるため、広げて十分に乾かしてから処分するかすぐに焼却処分してください。すぐに処分しない塗料のついたウエスなどは広げて乾かすか、水に浸しておいてください。

自然OIL WAXとは…

自然OIL WAXは、ほぼ植物などの自然素材から構成されています。有害物を一切含まず、環境と人にやさしい塗料です。
従来のウレタン塗装等とは違い、塗膜を作らず木の呼吸を妨げないため木に浸透してよくなじみ木の持つ自然の風合いをいつまでも保ち続けます。
また、湿度がほぼ一定に保たれた快適な生活が実現できます。
メンテナンスにおいては、従来のウレタン塗装などのような塗膜を作らないため傷が目立ちにくく、手塗りで重ね塗りができるため容易です。
その反面、塗膜がない為水などの液体に対して弱い面もあります。従って定期的な正しいメンテナンスをおすすめします。